

## 平成21年5月期 第1四半期決算短信

平成20年10月8日

上場会社名 日本プロセス株式会社  
 コード番号 9651 URL <http://www.jpdc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経営企画部長  
 四半期報告書提出予定日 平成20年10月15日

(氏名) 大部 仁  
 (氏名) 岡竹 芳彦

TEL 03-5408-3351

上場取引所 JQ

(百万円未満切捨て)

## 1. 平成21年5月期第1四半期の連結業績(平成20年6月1日～平成20年8月31日)

## (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
21年5月期第1四半期	1,188	—	30	—	40	—	1	—
20年5月期第1四半期	1,254	16.6	74	29.3	85	37.1	44	△40.2

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
21年5月期第1四半期	0.33	—
20年5月期第1四半期	9.31	—

## (2) 連結財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭	%	
21年5月期第1四半期	9,160	—	8,160	—	89.1	1,420.41	—	
20年5月期	9,073	—	8,231	—	90.7	1,432.82	—	

(参考) 自己資本 21年5月期第1四半期 8,160百万円 20年5月期 8,231百万円

## 2. 配当の状況

(基準日)	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	年間
20年5月期	—	15.00	—	15.00	30.00
21年5月期	—	—	—	—	—
21年5月期(予想)	—	15.00	—	15.00	30.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

## 3. 平成21年5月期の連結業績予想(平成20年6月1日～平成21年5月31日)

(%表示は通期は対前期、第2四半期連結累計期間は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期連結累計期間	2,500	—	94	—	92	—	28	—	4.87
通期	5,600	1.8	460	3.6	490	△2.9	260	2.7	45.26

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

## 4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無  
新規 — 社(社名) 除外 — 社(社名)

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 無

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更)に記載されるもの

① 会計基準等の改正に伴う変更 有

② ①以外の変更 無

(注) 詳細は、3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	21年5月期第1四半期	5,745,184株	20年5月期	5,745,184株
② 期末自己株式数	21年5月期第1四半期	13株	20年5月期	13株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	21年5月期第1四半期	5,745,171株	20年5月期第1四半期	4,817,228株

## ※業績予測の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 業績予想につきましては、発表日現在において入手可能な情報に基づき判断した見通しであり、様々な不確定要素が内在しております。実際の業績等は、業況の変化等により、これらの予想数値と異なる場合があります。

2. 当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

## 定性的情報・財務諸表等

## 1. 連結経営成績に関する定性的情報

第1四半期の経営成績  
業績

(単位：百万円)

	前第1四半期連結 累計(会計)期間	当第1四半期連結 累計(会計)期間	増減額 (増減率)
売上高	1,254	1,188	— —
営業利益	74	30	— —
経常利益	85	40	— —
当期純利益	44	1	— —

(注) 当連結会計年度は、四半期開示の適用初年度のため前年同四半期増減は記載しておりません。

当第1四半期(以下、当期)の国内経済は、世界的な経済成長の鈍化や資源・食料価格の高騰により消費マインドが悪化し、米国金融不安による景気の下振れリスクに対する警戒感などから設備投資も弱含みで推移しました。また、ソフトウェア投資は9月19日内閣府発表の月例経済報告によると4-6月期は緩やかに増加となっておりますが、当社を取り巻く環境はすでに厳しい状況に変化しているものと考えられます。

こうした環境の中で当社グループは、長期的な取引関係によるお客様との信頼関係に基づく安定した受注をベースとした基盤事業の緩やかな拡大と、継続的發展を牽引する成長分野へのバランスの取れた投資を両輪とすることを基本戦略とし、中期経営計画に基づいた集中と選択を図ってまいりました。制御系システム開発の需要は活発でしたが、それを上回る組込系システム開発の需要減少という急激な環境変化がありました。これに対応するため当期に組込系システム開発要員を好調な制御系システム開発へと人材のシフトを進めてまいりましたが、当初売上の減少とシフトに伴う教育コスト等の増加により利益は減少しました。

また、保有しております株式の評価損を当期に特別損失として28百万円計上しております。

従来、事業セグメントを「システム開発」「情報サービス」「ソフトウェア販売」と区分しておりましたが、先期に米国サヴィオン社とのサヴィオン製品の販売に関する契約を終了しソフトウェア販売から撤退したことによりシステム開発の比重が高まったため、当期からシステム開発を詳細化する事業セグメントに変更し、より精度の高い情報を提供してまいります。新しいセグメントは、「制御系システム開発」「組込系システム開発」「基盤系システム開発」「業務系システム開発」「情報サービス・その他」の5区分となります。

新事業セグメントの状況は以下のとおりであります。

## 部門別の状況 (単位：百万円)

	売上高 (構成比)
制御系システム開発	346 (29.2%)
組込系システム開発	438 (36.9%)
基盤系システム開発	103 (8.7%)
業務系システム開発	165 (13.9%)
情報サービス・その他	134 (11.3%)
計	1,188

**(制御系システム開発)**

当部門では、鉄道向け制御システム、電力向け制御システム、自動車制御システムなどが好調で、画像処理システム、プラント関連のシミュレーションも堅調に推移しました。

**(組込系システム開発)**

当部門では、携帯電話の飽和感や主要顧客の情報家電戦略見直しなどにより一時的に大きく需要が減少しましたが、期首予想に比べ売上・受注は回復してまいりました。

**(基盤系システム開発)**

当部門では、流通系システム、コンテンツ管理システムなどが減少傾向にあり、それにともない共通基盤系の開発もやや低調に推移しました。

**(業務系システム開発)**

当部門では、金融系のシステム開発は抑制傾向にあります。会計システムが牽引し売上は増加しました。

**(情報サービス・その他)**

当部門では、構築サービス、検証サービス、コールセンター業務とも順調に推移しました。

**2. 連結財政状態に関する定性的情報**

当第1四半期連結会計期間末の総資産は、前期末に比べまして87百万円増の9,160百万円となりました。これは、現預金や仕掛品が増加したことに対し売掛金が減少したこと等によります。

負債につきましては、前期末に比べまして159百万円増の1,000百万円となりました。これは、賞与引当金が152百万円増加したこと等によります。純資産は、配当金の支払い等から、前期末に比べて71百万円減の8,160百万円となりました。

1株当たり純資産は、1,420円41銭です。

**(キャッシュ・フローの状況)**

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下、「資金」という）の残高は、251百万円増加して3,268百万円となりました。

**(営業活動によるキャッシュ・フローの状況)**

営業活動により得られた資金は、300百万円となりました。主な要因は、売掛金が回収されたことや賞与引当金が増加したことによるものであります。

**(投資活動によるキャッシュ・フローの状況)**

投資活動により得られた資金は、20百万円となりました。主なプラス要因は、投資有価証券の売却・償還による収入152百万円であり、主なマイナス要因は投資有価証券の取得による支出118百万円によるものであります。

**(財務活動によるキャッシュ・フローの状況)**

財務活動により使用した資金は、69百万円となりました。これは、配当金の支払額69百万円によるものであります。

**3. 連結業績予想に関する定性的情報**

当第1四半期連結会計期間は、売上、営業利益とも前年比では減少となりましたが、当期見込は上回りました。しかし、これは人材シフトによる売上寄与が予定より前倒しになったことによるものであり、受注はほぼ計画通りであるため、平成20年7月11日に発表しました平成21年5月期（第2四半期連結累計期間及び通期）の連結業績予想の変更ありません。

環境変化が激しく予想が困難な状況ではありますが、状況変化を的確にとらえ適切な情報開示を行ってまいります。

**4. その他****(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）**

該当事項はありません。

**(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用**

該当事項はありません。

**(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更**

①当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」（企業会計基準第12号）及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第14号）を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

②「棚卸資産の評価に関する会計基準」（企業会計基準委員会 平成18年7月5日 企業会計基準第9号）を当第1四半期連結会計期間から適用し、仕掛品は個別法による原価法から個別法による原価法（貸借対照表価額については収益性の低下に基づく簿価切下げの方法）に変更しております。

なお、これによる影響額はありません。

5. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,714,480	4,463,694
受取手形及び売掛金	1,384,369	1,571,888
有価証券	654,766	654,078
仕掛品	217,307	132,421
繰延税金資産	222,973	171,612
その他	82,073	153,687
貸倒引当金	△800	△605
流動資産合計	7,275,170	7,146,777
固定資産		
有形固定資産	293,451	293,064
無形固定資産	121,203	124,813
投資その他の資産		
投資有価証券	1,110,107	1,147,874
その他	361,014	360,604
投資その他の資産合計	1,471,121	1,508,478
固定資産合計	1,885,775	1,926,356
資産合計	9,160,946	9,073,134
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	69,268	82,491
未払法人税等	62,498	25,072
賞与引当金	477,001	324,394
その他の引当金	10,560	22,190
その他	350,835	359,790
流動負債合計	970,165	813,939
固定負債		
引当金	28,908	27,067
その他	1,363	313
固定負債合計	30,272	27,380
負債合計	1,000,437	841,320

(単位:千円)

	当第1四半期連結会計期間末 (平成20年8月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成20年5月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,487,409	1,487,409
資本剰余金	2,325,847	2,325,847
利益剰余金	4,345,279	4,429,538
自己株式	△9	△9
株主資本合計	8,158,527	8,242,786
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	1,980	△10,972
評価・換算差額等合計	1,980	△10,972
純資産合計	8,160,508	8,231,814
負債純資産合計	9,160,946	9,073,134

(2) 四半期連結損益計算書  
(第 1 四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	当第 1 四半期連結累計期間 (自 平成20年 6 月 1 日 至 平成20年 8 月 31 日)
売上高	1,188,862
売上原価	951,722
売上総利益	237,140
販売費及び一般管理費	206,997
営業利益	30,142
営業外収益	
受取利息	9,540
その他	1,547
営業外収益合計	11,087
営業外費用	
雑損失	909
営業外費用合計	909
経常利益	40,320
特別利益	
投資有価証券売却益	4,250
特別利益合計	4,250
特別損失	
投資有価証券評価損	28,541
その他	2,228
特別損失合計	30,769
税金等調整前四半期純利益	13,800
法人税、住民税及び事業税	62,130
法人税等調整額	△50,248
法人税等合計	11,881
四半期純利益	1,918

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

当第1四半期連結累計期間 (自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日)	
営業活動によるキャッシュ・フロー	
税金等調整前四半期純利益	13,800
減価償却費及びその他の償却費	14,134
有形及び無形固定資産除売却損益 (△は益)	63
投資有価証券売却及び評価損益 (△は益)	26,456
受取利息及び受取配当金	△9,993
引当金の増減額 (△は減少)	143,015
売上債権の増減額 (△は増加)	187,519
たな卸資産の増減額 (△は増加)	△84,886
仕入債務の増減額 (△は減少)	△13,223
その他の流動資産の増減額 (△は増加)	93,473
その他の流動負債の増減額 (△は減少)	△47,888
その他の投資その他資産の増減額 (△は増加)	△10,654
その他	△1,089
小計	310,726
利息及び配当金の受取額	7,563
その他の収入	1,300
法人税等の支払額	△19,151
営業活動によるキャッシュ・フロー	300,439
投資活動によるキャッシュ・フロー	
定期預金の預入による支出	△600,363
定期預金の払戻による収入	600,000
有形固定資産の取得による支出	△6,041
無形固定資産の取得による支出	△6,125
投資有価証券の取得による支出	△118,872
投資有価証券の売却及び償還による収入	152,085
その他	△590
投資活動によるキャッシュ・フロー	20,091
財務活動によるキャッシュ・フロー	
配当金の支払額	△69,420
財務活動によるキャッシュ・フロー	△69,420
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	251,110
現金及び現金同等物の期首残高	3,017,772
現金及び現金同等物の四半期末残高	3,268,883

当連結会計年度より「四半期財務諸表に関する会計基準」(企業会計基準第12号)及び「四半期財務諸表に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第14号)を適用しております。また、「四半期連結財務諸表規則」に従い四半期連結財務諸表を作成しております。

- (4) 継続企業の前提に関する注記  
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

当第1四半期連結累計期間(自平成20年6月1日至平成20年8月31日)

	制御系 システム開発 (千円)	組込系 システム開発 (千円)	基盤系 システム開発 (千円)	業務系 システム開発 (千円)	情報サー ビス・その他 (千円)	計 (千円)	消去又は 全社 (千円)	連結 (千円)
売上高								
(1) 外部顧客に対する 売上高	346,653	438,355	103,863	165,801	134,188	1,188,862	—	1,188,862
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—	—	—
計	346,653	438,355	103,863	165,801	134,188	1,188,862	—	1,188,862
営業利益	92,855	90,055	△4,630	20,576	6,444	205,303	(175,160)	30,142

(注) 1. 事業区分の方法の変更

従来、事業セグメントを「システム開発」「情報サービス」「ソフトウェア販売」と区分しておりましたが、前連結会計年度に米国サヴィオン社とのサヴィオン製品の販売に関する契約を終了しソフトウェア販売から撤退したことによりシステム開発の比重が高まったため、当第1四半期連結累計期間からシステム開発事業を細分化した事業セグメントに変更しております。この変更は、より明瞭な事業の種類別セグメント情報を開示するためのものであります。新しい事業セグメントは、「制御系システム開発」「組込系システム開発」「基盤系システム開発」「業務系システム開発」「情報サービス・その他」の5区分となります。

なお、当第1四半期連結累計期間のセグメント情報を、前連結会計年度において用いた事業区分の方法により区分すると次のようになります。

	システム開発 (千円)	情報サービス (千円)	ソフトウェア 販売 (千円)	計 (千円)	消去又は全社 (千円)	連結 (千円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する 売上高	1,054,674	134,188	—	1,188,862	—	1,188,862
(2) セグメント間の内 部売上高又は振替 高	—	—	—	—	—	—
計	1,054,674	134,188	—	1,188,862	—	1,188,862
営業利益	198,858	6,444	—	205,303	(175,160)	30,142

2. 各区分に属する主要な製品

事業区分	主要製品
制御系システム開発	交通、運輸、宇宙、航空、エネルギープラント、自動車
組込系システム開発	携帯電話、情報家電、ドキュメントプロセッシング
基盤系システム開発	ビジネスIT基盤、コンテンツサービス基盤
業務系システム開発	金融システム、会計システム、販売・顧客管理
情報サービス・その他	運用/保守サービス、検証サービス、構築サービス

**【所在地別セグメント情報】**

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店が無いため該当事項はありません。

**【海外売上高】**

当第1四半期連結累計期間（自 平成20年6月1日 至 平成20年8月31日）

海外売上高がないため該当事項はありません。

（6）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

## 「参考資料」

## 前四半期に係る財務諸表等

## (1) (要約) 四半期連結損益計算書

前1四半期連結累計期間(自平成19年6月1日至平成19年8月31日)

科目	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 売上高	1,254,627
II 売上原価	1,001,492
売上総利益	253,134
III 販売費及び一般管理費	179,102
営業利益	74,031
IV 営業外収益	12,143
V 営業外費用	1,123
経常利益	85,051
VI 特別利益	5,970
VII 特別損失	3,655
税金等調整前四半期純利益	87,366
税金費用	42,515
四半期純利益	44,850

## (2) (要約) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

前1四半期連結累計期間(自平成19年6月1日至平成19年8月31日)

区分	前年同四半期 (平成20年5月期 第1四半期)
	金額(千円)
I 営業活動によるキャッシュ・フロー	20,614
II 投資活動によるキャッシュ・フロー	△29,872
III 財務活動によるキャッシュ・フロー	△83,915
IV 現金及び現金同等物の減少額	△93,173
V 現金及び現金同等物の期首残高	3,144,847
VI 現金及び現金同等物の四半期末残高	3,051,674

(3) セグメント情報

【事業の種類別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年6月1日至平成19年8月31日)

システム開発事業の売上高の金額が、全セグメントの売上高の合計額に占める割合が90%超であるため、事業の種類別セグメント情報の記載を省略しております。

【所在地別セグメント情報】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年6月1日至平成19年8月31日)

本邦以外の国又は地域に所在する連結子会社及び在外支店がありませんので、該当事項はありません。

【海外売上高】

前第1四半期連結累計期間(自平成19年6月1日至平成19年8月31日)

海外売上高がありませんので、該当事項はありません。